

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○					○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社 SiM24	都道府県	大阪府
業種	学術研究、専門・技術サービス業	従業員数	18名
事業概要	電子機器・部品・設備等の構造系の受託シミュレーションサービス		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	制度を就業規則の本則に規定している。
テレワーク推進担当部門	本社
テレワーク対象者	18名全員
実施者数	18名全員(主に16名が完全在宅勤務制)
実施日数	月16回以上

## テレワークの導入・拡大の経緯

- ・テレワークの実施時期: 2005年～創業時から実施
- ・実施場所: 自宅、実施者の実態: 週5日程度実施
- ・実践内容: 完全在宅社員による24H対応を強みとした、電子部品設計からアグリ分野まで、あるいは工場のモノづくりプロセス革新から省エネ化などに関するさまざまなご要望に対応する解析シミュレーション技術サービスの提供
- ・アピールポイント: シミュレーション技術は高度な工学的知識や設計分野に関する経験が必要とされるが、技術や知識を持ちながら出産等で退職した家庭に埋もれた人材をITシステムを上手く活用し、能力に応じた明確な分業化、工夫を行うことで、設計現場以外では不可能であった解析シミュレーション業務を短納期・低コスト・フレキシブルに対応可能とした。

## テレワークの概要・特徴

- ・テレワーク社員の会社に対する満足度が高い。本来ならば、子育て中という限られた時間の中で、会社での実務経験を生かした仕事に就くことは非常に困難であったが、大きなやりがいと責任を持って仕事をする事ができている。
- ・通勤時間のロスがなく、24Hの時間を自身でやりくりして実務を行うことができることによって、拘束時間は少ないがオフィス勤務時より効率的に業務をこなすことができる。このように、個人の生活と仕事とのワークライフバランスがとても良好な状態で勤務できることによって、生産性が向上したと認識している社員がほとんどである。
- ・顧客からは「迅速・低コスト・信頼性の高い回答」とであると評価頂いており顧客のリピーター率も高くなっている。
- ・実務経験、専門技術がありながら家庭に埋もれた人材を「完全在宅制度」を用いて活用し、明確な役割分担を行うことにより、設計現場の分業化、すなわち設計の効率化に寄与することができた。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・夫の転勤により、地方在住となった社員が会議はテレビ会議、実務は完全在宅の為、業務に支障が生じなかった。
- ・社員が出産の為休業したが、子供が寝ている空き時間等を使って業務が行える為、乳幼児の時期から復帰することができた。本来なら、乳幼児を保育園やベビーシッターに預けなければ働けなかったが、自分で子育てできるという安心感と、長いブランクを作らないといった早い社会復帰の両方を実現できた。
- ・従来では考えられなかった「在宅でのシミュレーション業務」が可能であり、事業として成り立っていることを示すことによって、「専門技術を持つ家庭に埋もれた人材」を再活用することの有用性を世に知らしめることができた。このことは、将来における少子化、労働人口減少に対する課題解決に大いなる効果を発揮するものと思われる。